

第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日時：令和6年3月27日

場所：エスポワールいわて 大ホール

令和5年度第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会会議録

1 開 会

(林業振興課：高芝振興担当課長)

会議を始める前に資料の確認をいたします。

資料は事前に配布しておりますが、

- ・ 次第、名簿
- ・ 資料 1-1 令和5年度いわての森林づくり推進事業の取組状況
- ・ 資料 1-2 令和5年度いわての森林づくり県民税」に係る県民意識アンケート調査結果
- ・ 資料 2-1、2-2 令和6年度いわての森林づくり推進事業
- ・ 資料 3 いわて環境の森整備事業モニタリング調査報告
- ・ 資料 4 いわて環境の森整備事業森林作業道整備の採択基準等の見直し
- ・ 資料 5 令和6年度県民参加の森林づくり促進事業企画書 一式

ですが、お手元にございますでしょうか。

それでは、ちょうど開会時間となりました。ただいまから令和5年度第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会を開催いたします。進行を務めます林業振興課の高芝でございます。どうぞよろしく願いいたします。委員の皆様には御多用のところ御出席いただきまして誠にありがとうございます。本日はお手元の出席者名簿の通り、10名中7名の委員に御出席いただいております。岩手県附属機関条例第6条第2項の規定によりこの会議は成立していることを報告いたします。なお、三浦委員、水野委員、吉野委員は所用により欠席となっております。また、事務局の職員及び担当者が出席しておりますが、時間の都合上紹介は割愛させていただきます。

それでは、座って会議を進めさせていただきます。今回の委員会は2部構成を予定しております。次第にあります通り第1部において、

- (1) 令和5年度いわての森林づくり推進事業の取組状況について
- (2) 令和6年度いわての森林づくり推進事業について
- (3) いわて環境の森整備事業モニタリング調査報告について
- (4) いわて環境の森整備事業森林作業道整備の採択基準等の見直しについて
- (5) 令和6年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について
- (6) その他

の6項目を予定しております。

第1部終了後、第2部を開催したいと考えております。委員の皆様にあつては、長時間の委員会となりますが、よろしく願いいたします。

議事の進行につきましては、いわての森林づくり県民税事業評価委員会設置要綱第5条第2項により、委員長が議長となるとされているため、これより國崎委員長をお願いいたします。

2 議 題

(1) 令和5年度のいわての森林づくり推進事業の取組状況について

(2) 令和6年いわての森林づくり推進事業について

(國崎委員長)

どうぞよろしくお願いたします。

議題1と議題2番は前回の委員会でも概要を御説明いただいていますし、この2つは関連しておりますので、「令和5年度のいわての森林づくり推進事業の取組状況」、「令和6年度のいわての森林づくり推進事業」について一括して説明をお願いいたします。

(林業振興課：澤口主査) 【資料 No.1～No.2 に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。

それでは、今年度の取組状況と次年度の計画について、御意見・御質問等ございましたらよろしくお願いたします。佐藤委員よろしくお願いたします。

(佐藤委員)

林野火災予防対策事業について、お話いたします。

先日、路網マップ整備について、消防、事業体、役場の方にお話しを伺って参りました。消防からは、山火事や行方不明者の捜索の際に非常に役立っているというお話を伺いました。特に、住田町は山沿いに住宅が点在しているところが多く、救助の際に山林にも入ることなので、すごく助かるというお話でした。人命救助にも繋がるすごく貴重な事業だと思います。

また、事業体では、すでに路網マップが壁に掲示してあり、皆さん見えるような状況で、周知されているように思われました。あくまで私の想像ではありますが、事業体であれば、搬出量の計画や施業の際の指針になるのではないかと考えています。

役場からは、落石情報があると、今後崩壊の可能性がある場合に使えるのではないかという御意見も伺いました。

このように、山火事以外のメリットが多く、人命救助にも繋がる事業ですので、県民の皆様の生活に直結した、すばらしい事業だと思います。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。若生委員、よろしくお願いたします。

(若生委員)

環境の森整備事業のアカマツ広葉樹林化について、地元の山主の方から、アカマツの枯死木除去が大変という声を伺っていたことから、予算が増額となりありがたいと思っています。

それに加えて、環境の森整備事業の対象となる「緊急に整備が必要な森林」については、前回の委員会でも検討し、見直しの余地があるという話をしましたが、今年度の予算の中でも、さらに要望があるかを丁寧にしながら、流動的に予算を追加できるのであれば、非常にありがたいと思いました。

(國崎委員長)

はい、他いかがでしょうか。稲村委員よろしく申し上げます。

(稲村委員)

稲村でございます。2点質問いたします。

アンケートの認知度の件について、植樹祭関連のイベントで実施したにも関わらず、認知度が48.7%となったのは、認知度が上がったというには厳しいのではないかと思います。

また、資料No.2-1の推進事業の予算の増減に関してですが、特に(1)から(7)に関して、増減の部分を丁寧に御説明いただければと思います。

(林業振興課：澤口主査)

アンケート結果については、全国植樹祭の関係に加え、木づかいフェスタや各地域での産業まつり等のイベントでも、調査を実施しておりますので、幅広くアンケートをしている結果にはなっております。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

資料2-1の事業費の増減のところでございます。「いわて環境の森整備事業」につきましては、人件費の上昇に伴い、補助単価が増額となっております。「森林・山村多面的機能発揮対策事業」につきましては、国の配布予算との関係で調整を行い、減額となっております。「木育の推進等に繋がる県産木材の活用」につきましては、令和4年度に事業がスタートし、毎年取り組みを継続するとなると、段階的に減少させていくような取り組みとなっていましたので、計画的に全体の事業費を圧縮するような中身でございます。「森林公園機能強化事業」は令和5年度の事業内容で、設備の導入とか大きい予算がありましたので、減額となっております。また、「全国植樹祭開催準備費」については、開催が終わったということで、それに代わるものとして植栽木の管理費が出てきているところです。大まかなところはなりますが、こちらでよろしいでしょうか。

(稲村委員)

ありがとうございます。

令和5年度は植樹祭が開催された年度ということで、一番認知度が上がる機会だったと思いますので、もう少し上がればよかったというのが正直なところですよ。

事業費に関しては、御説明ありがとうございました。環境の森整備事業で、洗い直しの結果、予算追加というお話がありました。来年度に予算の追加等、改めて計画することがあれば、教えていただきたいと思いました。

(國崎委員長)

齋藤委員、よろしくお願ひします。

(齋藤委員)

齋藤です。資料 No.2-1 予算の件になりますが、事業評価委員会運営費の県民意識アンケートは、調査方法の変更や調査対象者数の引き上げを行うために外部委託とするのでしょうか。

また、資料 1-1 の滝沢公園や折爪岳の看板の写真をみると、木質でない見た目のものが多いように感じました。県産材の活用という部分を掲げているのであれば、木材利用を意識したデザインに寄せた方がいいのではないかと思います。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

事業評価委員会運営費につきましては、第4期の森林づくり県民税が残り2年ということで、今後のあり方について検討を進めるあたり、県民税の認知度だけでなくもう少し幅広い内容について、人数も2,000人という規模に増やしてアンケートをとることから作業の委託をするため、金額が増えている中身となっています。

(森林保全課：鈴木主任主査)

森林公園の関係ですが、木に寄せたというか、一部木を使ったようなものも入れてはございますが、耐久性等のところを勘案してこういうものにさせていただいているところではございます。

(國崎委員長)

他、いかがでしょうか。野口委員よろしくお願ひします。

(野口委員)

アンケート調査に関して、2,000人規模に人数増やして調査を行うということでした

が、内容についても、次期の参考とするため、広く県民の森林に対する理解度や関心のある内容について問うような内容にされる御予定でしょうか。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

その通りとなっております。

(野口委員)

わかりました。

あと、県民の森のチップサイロは、どのようなものか教えていただければと思います。

(森林保全課：鈴木主任主査)

令和 3 年度の事業で購入したチップボイラーへチップを供給する設備となっております。

(野口委員)

今までチップの供給はどのように行っていましたか。

(森林保全課：鈴木主任主査)

今までも、チップサイロ従来のものがございまして、稼働させていたんですけども、稼働が不安定になってきましたので、来年度新たに整備させていただく予定です。

(野口委員)

わかりました。整備といっても、メンテナンスや更新内容という理解でよろしいですか。

(鈴木森林保全課主任主査)

そうですね、更新という形に近いかと思います。

(野口委員)

わかりました。ありがとうございます。

(國崎委員長)

村中委員よろしく申し上げます。

(村中委員)

いわての森林づくり普及啓発事業の予算が昨年度比で減少していることについて、

アンケート調査と併せて事業を知っていただくためにも、テレビの CM 等で普及啓発を図ってはどうかと思います。テレビ CM は、費用がかかるかと思いますが、予算の増額も必要になるかと思います。

(林業振興課：高芝振興担当)

委員ご指摘の通り、テレビは予算がかかるため、全体の事業費の中で、単独の事業を増額するには、調整が難しい部分があります。一方で、昨年度放映された県政広報のテレビ番組や SNS といった方法もありますので、そういったツールを活用していきたいと思っています。また、施工地確保という面では市町村広報紙が、有効な手段になっているので、引き続き対応していきたいと考えています。

(工藤技監)

少し補足をさせていただきます。

県民税制度が始まって大分経ちますので、テレビ等の様々な媒体を用いて広報活動を行っている中で、関心のある人には届いても、関心のない方にはなかなか伝わらないと感じているところです。例えば、木育の関係で、施設を入れたり、森林公園の機能強化をしておりますので、そういったところでイベントをやる際に、その場を借りて県民税を一般の方々に見えるような形で出していくことで、来てもらって知ってもらうようにしていければと思っています。これまで様々な委員からいただいた御意見も踏まえて、考えていきたいと思っていますので、引き続き御意見を頂戴できればと思います。

(村中委員)

ありがとうございます。

(3) いわて環境の森整備事業モニタリング調査報告について

(國崎委員長)

議題 1 と 2 についてはここまでとさせていただきたいと思います。議題 3 環境の森整備事業のモニタリングの調査報告ということでよろしく願いいたします。

(林業技術センター：小岩上席専門研究員) 【資料 No. 3 に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。

ただいまの御説明に対しまして何か御意見・御質問等ございましたら、よろしく願いいたします。稲村委員よろしく願いいたします。

(稲村委員)

資料 No. 3 の 4 ページで、色が分かれています、それぞれどういったものを表していますか。また、植栽木以外のところで、どのような広葉樹が入ってきたか分かれば、教えていただきたいです。

(林業技術センター：小岩上席専門研究員)

低木性の樹種か、中木性の樹種か、高木性の樹種かということで色を分けています。濃い緑が低木性、緑のものが中木性、黄色のものが高木性、紫色はヒノキという見方になります。樹種については、7 ページの階層構造図のところで示していますが、例えば赤沢はクリ、達増部はホオノキ、玉崎はコシアブラ、ケヤキ、コナラといったものが含まれるような状況です。

(稲村委員)

ありがとうございます。ぜひ県北の方のアカマツやカラマツのモニタリングも非常に興味がありますので、ぜひ教えていただければと思います。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。野口委員よろしくお願いします。

(野口委員)

植被率にシカの食害が影響しているということでしたが、食害の状況は記録していますか。

(林業技術センター：小岩上席専門研究員)

気づいたときには記録しているのですが、かなりボリュームがあり、まとめきれないというところがあります。今回の報告では載せていません。

(野口委員)

ありがとうございます。森林学会で、他県の状況も伺ったのですが、全国的にやはりシカに食べられて生えてこないというパターンが増えていると思いますので、シカの影響がどの程度あるかは、記録をとると良いと思います。県内でもシカの密度は、拡大しており、途中で状況が変わってくることもありますので、御検討いただければと思います。ありがとうございます。

(林業技術センター：小岩上席専門研究員)

これからさらに注目してみたいと思います。

(國崎委員長)

若生委員よろしくお願ひいたします。

(若生委員)

継続してモニタリング調査をしていただき、本当にありがとうございます。私達は委員会の中で、大まかな計画を教えてもらっているのですが、実際に山主さんや県民の皆さんが事業効果を知る機会が少ないのが残念と思いますので、間伐をした成果や植栽率に加えて、山崩れの予防効果等、私たちの暮らしの上での守られた部分についても、ぜひフィードバックしていけるといいかなと思います。ありがとうございました。

(國崎委員長)

ということで、大体意見をいただいたかと思います。私や野口委員等が調査をしている結果と矛盾のない非常に綺麗なデータになっていると思いますので、御意見等を踏まえながら、可能な範囲で継続していただければと思っております。

ということで、議題の3はここまでにさせていただいて、始まってから1時間経っておりますので、休憩を入れた方が良くかと思いますが、事務局の方からはアナウンスをお願いいたします。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

ありがとうございます。それではただいまから5分程度の休憩とさせていただきます。

～休憩～

(4) いわて環境の森整備事業森林作業道整備の採択基準等の見直しについて

(林業振興課：高芝振興担当課長)

それでは会議を再開させていただきたいと思っております。國崎委員長、よろしくお願ひいたします。

(國崎委員長)

続きまして議題の4 いわて環境の森整備事業森林作業道整備の採択基準等を見直しについて、御説明をお願いいたします。

(林業振興課：澤口主査) 【資料 No.4 に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。経緯を説明しますと、混交林誘導伐をさらに進めていく上で、作業道の問題があるということで、森林作業道整備のメニューを上追加したのですが、シビアな基準という形でスタートしたため、事業体からすると使いづらい部分もあるということで、見直しを行うということです。基本的には、案のとおり見直したらいいのではないかと考えていますが、委員各位から御質問・御意見等ございましたら、よろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。ということで、御提案の内容で了承するというので、この議題は終わりにしたいと思います。

(5) 令和6年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について

(國崎委員長)

ここから議題5の令和6年度県民参加の森林づくり促進事業の企画採択に係る意見聴取ということで、午前中は最初の4件を説明いただいて、委員各位から御質問とか御意見をいただくというような形で今後進めていきたいと思ひます。

それでは、最初に資料のNo.1から4につきまして、説明をお願ひいたします

(林業振興課：木村主事) 【資料No.5(審査番号No.1～4)に基づいて説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。

最初に、1番「イヌワシの森整備事業」ですが、過去にも何度も応募いただひいるところですし、費目もかなり精査されていると思ひますが、御質問・御意見ございましたら、お願ひしたいと思ひます。よろしいですか。

先に進めさせていただひて、2番「森守の盛森林整備事業2024」ですが、過去に8回採択ということで、過去の実績も十分ありますし、予算も昨年度とほぼ同額で、企画が提出されております。ちなみに講師として参加しているのは、岩手大学で森林について学んでいる学生で、私からも安全に留意して実施するよう説明した上で、やってもらっています。少なくとも、学生からは困ったこと等を聞いてないので、順調に進んでいると思ひております。

こちらもよろしいでしょうか。若生委員よろしくお願ひいたします。

(若生委員)

活動の経過をフェイスブックでも拝見していますが、学生が経験を積みながら、環境教育に係る人材を育てることに、非常に効果が出ている取組と思ひます。

(國崎委員長)

ありがとうございました。ひとまず先に進ませてもらいたいです。3番生母生産森林組合の「ボランティア等による植樹及び下草刈り等の森林整備活動」ということで、こちらでも過去8回採択いただいているということで、今年度は、前年より約10万円ほど増額しておりますが、何か突出して増えているというよりは、実際の活動を踏まえて需用費を増額としているとみると、ほぼ例年通りと受け取っておりますが、何か御意見・御質問等がございますか。よろしいですか。

ひとまず進ませてもらって、次に4番遠野エコネットの「森林ボランティア育成事業」ということですが、森林の整備ですとか、森林環境学習を行っていくということで、企画が提出されております。遠野エコネットは、例年100万円とで申請が出てきていますので、例年通りに企画されたのかなと受け取っておりますが、いかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。

続いて5番から8番の企画について説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No.5 (審査番号 No.5～8 に基づいて説明)】

(國崎委員長)

ありがとうございました。

5番目森を考える会の「楽しい森林・林業体験事業」です。5番から8番の団体はいずれも過去の採択も実績も多いところでありまして、前年度と6万円ほど増にはなっていますが、何か突出して費目が増えているというよりは、状況を見ながら柔軟に見直しをしたということで、前年度を踏まえて企画されていると受け取っているところですが、何か御質問等ございますか。佐藤委員、よろしく申し上げます。

(佐藤委員)

報償費の中に整体師という記載がありますが、これは森林内のリラクゼーションで、整体師をお呼びするというところでよろしいでしょうか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

お見込みの通り、リラクゼーションの内容で、整備された森林内でのヨガ等、体を整えるような活動を計画しております。報償費に入れております。

(佐藤委員)

ありがとうございます。ハンモックもその中に含まれるということでよろしいでしょうか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

その通りです。

(佐藤委員)

整体師のお名前とかどこから来られるかというのは分かりますか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

もともと森を考える会に参加された石原さんという宮古の整体師の方です。

(佐藤委員)

わかりました。ありがとうございます。

あとですね、森林アドバイザーというのは、初めて聞いたのですが、林政地域アドバイザーとは違うものでしょうか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

森林アドバイザーの明確な定義について勉強不足で、申し訳ないのですが、作業道の研修で、お呼びする方です。

(佐藤委員)

小型のバックホウの運搬や作業道工事の指導という欄に該当する研修でよろしいでしょうか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

はい、そうです。

(佐藤委員)

承知しました。ありがとうございます。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。よろしいですか。先に進ませていただきます。

続いて6番岩泉まつたけ事業協同組合「岩泉まつたけ山づくり協力隊事業」ですが、こちらにも、過去に3回ほど、採択され継続してまつたけ山の整備をされているという取り組みですが、昨年度に比べますと、使用料の部分で、23万円ほど増となっておりますが、こちらについて何か御質問・御意見等ございますか。若生委員よろしくお願いたします。

(若生委員)

宿泊施設使用料について、何かを体験するために会場を借りるのではなく、宿泊費的なものなのか確認したいです。宿泊費であれば、御負担いただきたいのですが、作業の工程が宿泊して行うものなのかお伺いしたいです。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

実質宿泊することに係るものは、基本的には認めないという整理です。一方で、体験が夜間に渡って行われ、その間どうしても会場を借り上げなければ活動ができないので、どうしても必要になるというような宿泊行為じゃない部分でどうしても必要になるのであれば、可能というような整理はあるかと思えます。何のためにどう使うのかというのを改めて示していただいて、今後の補助金の申請にあたっては、そこを県の方で審査したいと思えます。

(國崎委員長)

よろしく願いいたします。

それでは続いて7番くじ★ラボ「平庭高原ガーデニング『日本一の白樺美林』魅力アップ事業」ということで、今回も植樹や下草刈り等の活動をされるということで、あがってきております。前年度と計上されている枠が同じということで、引き続き同様の活動をされると解釈できますが、こちらについて何か御質問等ございますでしょうか。

白樺と蓮華ツツジを植樹するというので、白樺は明るいところを好む樹種なので、林内では、あまり育たないことを懸念しています。今回のものについては、開けたところに植えるというようなイメージで受け取って良いでしょうか。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

植える場所については、平庭高原の頂上から少し北方に下がった辺りで、木が少し倒れていたり、枯れたりして、明るくなっている場所に植えています。子どもたちへの森林学習を含め、効果的に事業を実施しているところです。

(國崎委員長)

8番目間伐ボランティアいわての「いわて森林づくり県民税活用事業」で、森林整備です。前年度と額もほぼ同じということで、引き続き間伐等で森林整備をしっかりとしていくというふうに受け止めますが、こちらについて何か御質問等ございますか。よろしいですか。

ということで、午前中は1番から8番のところまでは、意見聴取させていただいたということで、一旦お昼休みに入らせていただきたいと思えますので、事務局の方にお返しします。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

國崎委員長ありがとうございました。

それでは、昼食について御案内いたします。昼食は、現在のお席に係の者が用意いたしますので、その場でお召し上がりください。

なお、会議は、13：00 に再開しますので、それまでに席にお戻りいただくようお願いいたします。

～休憩～

(林業振興課：高芝振興担当課長)

それでは定刻となりましたので、これより午後の部を再開いたします。

それでは、委員会を再開します。國崎委員長よろしく願いいたします。

(國崎委員長)

それでは、午前中は8番の団体さんまで、進んでおりました。続いて9番と10番の団体さんが、人材育成ということですので、この2つの団体さんについての説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No.5 (審査番号 No.9~10) に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。

まずは9番NPO法人紫波未来研究所「紫波未来研究所里山づくりプロジェクト」ですが、昨年度比14万円の増額となっておりますが、内容を見ながら、調整されているのかなと受け止められますが、こちらについて何か御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

10番岩手森林再生研究会「森のチェーンソー講座」で、基本的には例年通りの研修をされていくように見えるのですが、いかがでしょうか。何か御質問はございますか。若生委員、よろしく申し上げます。

(若生委員)

こちら団体の内容については、とても素晴らしいと思います。通信費の郵送料のところ、1万6400円×6回というのは、どういう内容で使用されるのでしょうか。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

団体会報発行しております、こちらの郵送料ということで伺っております。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。

室内研修の講師を、同僚の山本がやっていますが、かなり議論というかシビアな質問もいただいて、しっかりやられていると思いますので、よろしいのかなと思います。

続きまして、11番から13番ですね3件についての御説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No.5 (審査番号 No.11~13) に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。

11番岩手森林インストラクター会「小鹿公園の自然観察会」です。額はほぼ前年度と同様で組まれておりますので、引き続き自然観察会或いは草刈等が行われていくこととなっています。

私の方から、役務費のところ、森林整備ということで書かれていますが、価格を見ると、非常に少なく、草刈に使用するオイル等が計上されてないのではと思われるのですが、経費については、団体が負担して行っているのですか。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

県民参加の森林づくり促進事業とは別に他の補助金も使用して実施している取組があると伺ってしまして、そういったものを活用しながら進めているということで、当該補助金について不足しているという話は伺っていません。

(國崎委員長)

ありがとうございます。よく分かりました。何か御質問等ございますか。

小鹿公園は、私の同僚の研究室が卒業研究で対象にしまして、いろんな貴重な生き物がいる一方で、整備が必要等の課題も抱えています。こういう形で、いろんな観察会とかしていただけるのはありがたいので、こういった活動をぜひ展開していただきたいところです。

続いて、12番鹿妻穴堰土地改良区で、かなり早い時期から、応募してくださっている団体です。額としては、前年度よりも19万円ほど増額ということですが、原材料費の額が上がっていて、それ以外は概ね前年度と同じような形で上がっています。こちらについて何か御質問ございますでしょうか。よろしいですかね。

続いて、13番「なりの里いきいきプロジェクト事業」ということで、高齢者の方

とか障害者の方とか、そういった方を交えて森林環境学習をなさっていて、前年度に比べて約 6 万円増えていますが、各費目のところはほぼ同額で、引き続き同じような活動をされていくように見受けられますが、何か御質問ございますか。よろしいですか。

それでは、13 番までは確認したということで、引き続き森林環境学習ですが、14 番から 16 番について御説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No.5 (審査番号 No.14~16) に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。

14 番ノースジャパン素材流通協同組合青年部会の「げんき森林 (モリ) モリフェスティバル」です。前年度と今年度に 100 万円ということで各費目の増減ほとんどございませんので、引き続き同様のイベントを開催されると見受けられますが、いかがでしょうか。御質問はございますか。稲村委員よろしくお願ひします。

(稲村委員)

「げんき森林 (モリ) モリフェスティバル」の団体は、私も所属してまして、毎年こちらのフェスティバルに参加する形で、木工教室させていただいていました。参加している感想としては、子供たちが、夏休みの工作として出すということで、親子で一生懸命作るということで、毎年 100 前後参加いただいているので、全体で約 500 人来るようなイベントです。去年は植樹祭の関係で人数が増えたのですが、今年は単独で例年通りやるということです。何卒ご審議をお願いいたします。

(國崎委員長)

ありがとうございます。何か御質問ございますか。よろしいですか。

続いて 15 番ホホホの森探検隊で、引き続き森林環境学習は、やっていきたいということです。盛岡城跡公園のような人が多く集まる場所で森林環境学習をやるということも、大事な活動だと思います。こちらについて何か御質問ございますか。野口委員よろしくお願ひします。

(野口委員)

事業実施計画を拝見し、盛岡城跡公園のみで森林環境学習を行っているわけではないように思われるので、どこまでが今回の助成の範囲とされているか伺いたいです。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

基本的には、盛岡城跡公園を会場としていますが、中津川や櫻山神社等でも活動をし

ております。審査の段階では、森林環境学習の内容が盛り込まれているかという視点で、見ておりました。

(野口委員)

クラフトフェアは、こういった内容を予定していますか。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

クラフトフェアについては、ネイチャーアートということで、例えば木の葉や木を使ったアート作品の作成や、手作りの箱庭を使って森林環境学習を行うという内容と伺っています。

(野口委員)

わかりました。これも公園内で行うということでしょうか。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

そうですね。

(野口委員)

わかりました。ありがとうございます。

(國崎委員長)

おそらく、盛岡城跡公園の中に限るものではなく、都市の森林での森林環境学習という目的での活動だと受け止めればいいのではないかと思います。他いかがでしょうか。こちらについては、よろしいですか。

それでは続いて、16番目です。気になるところがあれば御質問いただければというふうに思っております。総額としては約100万円ということで、木工教室の原材料費とか、備品購入費が申請の過半数を占めています。野口委員よろしくお願ひします。

(野口委員)

基本的に事業内容が木工教室とかの体験学習になっていますが、具体的な普及啓発活動の内容が書かれていないので、追加していただいた方がいいのではないかと思います。使用する材料についても地域材を主に使う等、工夫していただいた方がいいのではないかと感じました。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

了解いたしました。森林環境学習を意識しながらですとか、木工体験学習の木材につ

いては市産材や県産材使うということで、御意見を団体へ伝えたいと思います。

(野口委員)

よろしく願いいたします。

(國崎委員長)

他いかがでしょう。稲村委員よろしく願いします。

(稲村委員)

構成員数の記載や過去の事例がないことから、イベントの規模感400人というのが、どれくらい人数が携わって実施するというのが、見えた方が好ましいと思います。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

構成員数については26名ということで伺っています。こちらは、もともと都南つどいの森の創作実習館を会場にして、活動を行っており、今回この補助金を使って、より活動を深めていきたいということで、補助金申請されたということで伺っています。来年度以降も事業を継続されるのであれば書き方工夫をするように、お伝えしたいと思います。

(稲村委員)

過去の事例について資料をつけていただければ、より分かりやすい資料になるかと思えます。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

ありがとうございます。資料に、令和5年度の実施概要ということで、横長の資料をつけておりました。

(稲村委員)

なるほどすみません。ありがとうございます。

(國崎委員長)

若生委員よろしく願いいたします。

(若生委員)

つどいの森は、木工工作室や機材が揃っており、県民税の木育推進の取組においても、滑り台等の遊具設置をされています。

今回材料費等を県民税で賄うとなると、体験料がかからないという呼びかけになるのでしょうか。また、今後もこのような形で続けていきたいと思っているのでしょうか。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

複数年の開催で考えているというふうには聞いております。つどいの森は、今年度末で食堂や宿泊施設が廃止になるということで、補助金を使って、森林公園施設や森林創作実習館での活動をより深め、材料費も補助金で賄うことによって、より多くの方に御参加いただきたいということで今回申請したと伺っています。

(國崎委員長)

齋藤委員、よろしくお願いします。

(齋藤委員)

備品について、法定耐用年数2年で書いていますが、2年後に再度備品購入費がかかるとなると、設備更新をかけるだけのイメージになるのではと感じました。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

補助対象経費の中で、備品購入費については、「法定耐用年数以上にわたり事業計画を企画する場合に限る」と記載しており、実施主体が、2年以上事業を継続していくための条件として書いたという整理だと認識をしています。管理台帳を整備し、関連書類と合わせて適切に保管することとなっているので、備品が壊れたりして必要性があれば支援をするという形になるので、設備が新しいままで更新するということは基本的に考えています。市の管理施設の中で、どういう備品を買うかについては、ルールを細かく定めるのが難しいところではありますが、事務局で申請者とどういった用途に使い、どう管理していくか聞いた上で、補助金として適正かを判断していきたいと思っています。その中で、大幅に企画書から変更した部分があれば、次回以降の評価委員会の中で御報告していきたいと考えています。

(國崎委員長)

ありがとうございました。引き続き、17番から19番の3件について御説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No.5 (審査番号 No.17~19) に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。17 番わらしゃんど「令和 6 年度いわての森とふれあう森林体験学習推進事業」です。前年度比 21 万円の増額ですが、特に施設等使用料が増えています。こちらについて何か御質問等ございますでしょうか。

使用料及び賃借料の貸し切り 6 万円×1 泊というのが、何か宿泊するのか或いは活動の場として借りているのか、教えていただきたいです。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

こちらはキャンプを行う際に、ホールの方も使用するというのでそちらの使用料ということで伺っております。

(國崎委員長)

わかりました。ホールの方でいわゆる森林環境学習をやるときに使うと考えればいいですね。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

そうです。

(國崎委員長)

わかりました。

(國崎委員長)

いかがでしょう。何か御質問ございますか。若生委員よろしく願いいたします。

(若生委員)

宿泊の部分で、使用料としてどの部分までを認めるかの線引きの部分について伺いたいです。

(稲村委員)

施設から提供された 1 泊 6 万円という見積もりをおそらくそのまま使っている形だとは思いますが、宿泊となると県民税を使う可否が問題になると思います。

(國崎委員長)

ありがとうございます。使用料の考え方について事務局より説明をお願いします。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

委員長から御指摘いただいた宿泊を除くという部分での整理になるかと思います。実質宿泊することに係るものは、基本的には認めないという整理と思っています。一方で、体験が夜間に渡って行われて、その間どうしても会場を借り上げなければ活動ができないので、どうしても必要になりますというような宿泊行為じゃない部分でどうしても必要になるのであれば、可能というような整理はあるかと思います。そこら辺については、見積もりだけではわからない部分があるので、それを何のためにどう使うのかというのを改めて示していただいて、今後の補助金の申請にあたっては、そこを県の方で審査するという形でいかがかと思うんですがいかがでしょうか。

(國崎委員長)

ありがとうございます。続いて18番地縁団体奥玉愛林公益会「どんぐりの森づくり大作戦」です。こちらも、過去の採択回数12回ということで、長年に渡って何度も企画を出してくださっている団体さんです。前年度とほぼ同額となっておりますので、引き続き同様の森林環境学習を行っていくと思われそうですが、御質問ございますか。

ひとまず先に進ませていただきます。続いて19番遠野市「とおの里山美林推進事業 里山林活用事業」です。今回は、40万円ぐらいですね。遠野市さんは以前から学校に机等を入れるということで、県民税事業を積極的に活用されています。何か御質問等ございますか。佐藤委員、よろしくをお願いします。

(佐藤委員)

今年度こういったものを作られるのか教えていただきたいのですが。

(遠野農林振興センター：菊池主任林業普及指導員)

遠野農林振興センターの菊池です。今年度は木のブロックを使ったカレンダーを市内の木工所に作成依頼をしまして、それを参加者の方々が、自分の好きなように色塗りをしたり、あと組み立てをしていただく予定としています。

(佐藤委員)

ありがとうございます。内容というのは組合さんの方で準備されるんですか。

(遠野農林振興センター：菊池主任林業普及指導員)

材料は木工所の方で作っていただきましたので、そちらから購入する形になっております。

(佐藤委員)

ありがとうございます。書類の提出についてなんですけれども、終わった後の、集合写真とか、活動中の写真は添付されていないと感じました。こういった行政等の団体の場合は、提出書類に写真の添付はないのかなという疑問です。

(遠野農林振興センター：菊池主任林業普及指導員)

当センターが遠野市からの実績書を実際に受け取って審査する際には、活動写真をつけていただいていたと思います。私自身も実際に活動している当日にお邪魔して、こういう活動しているというのは、確認しています。

(佐藤委員)

ありがとうございます。承知しました。

(國崎委員長)

佐藤委員おっしゃるように、参考資料として写真の一部でもいいので載せていただけるとよりわかりやすいかと思います。差し支えなければ、次年度のものを一部でもいいので、見せていただけるとありがたいと感じた次第であります。

以上 19 番までへと進めてということで、始まって大体 1 時間ほど経ちましたので、ここで休憩をとりたいと思います。事務局からよろしくお願いします。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

それでは、5 分間ほど時間を取りたいと思います。14 時 5 分の再開としますのでよろしく願いいたします。

～休憩～

(林業振興課：高芝振興担当課長)

会議を再開させていただきます。引き続き國崎委員長に議事の進行をお願いいたします。

(國崎委員長)

ここ数年、令和 3 年度あたりから議事録が送られてきてないと思うんですけれども、事務局の方では作っているけれども、もう配っていないのでしょうか。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

大変失礼しました。議事録は適宜作成をしております。従前、テープ起こしについて

は外部委託ができたのですが、最近外部委託ができない手作業の議事録作成になっておりまして、遅れておりました。概要等作成をしておりますので、各委員の皆さんにお送りしたいと思います。申し訳ございません。

(國崎委員長)

それでは、20番から22番の3件について、説明をよろしく願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No.5 (審査番号 No.20~22) に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。

20番宮古市「みやこ市民の森づくり事業」です。総額も増減が大きいので、おそらく昨年度の活動とは、違う活動されると受けとめております。何か御質問等ございますでしょうか。

形式的なことになるのですが、安全対策のところが多分誤字だと思うので、ここは修正しておいていただけるといいかなと思いました。何か御質問ございますか。齊藤委員よろしく願いします。

(齋藤委員)

見積もりの中にAEDのレンタルがありますが、活動の実施場所は、グリーンピア三陸宮古ということで、比較的設備上もAEDが近くにあるように思われます。AEDについては必要かとは思いますが、他の団体でAEDをレンタルされているところがないので、この団体だけ申請されているのには何か理由が教えていただきたいです。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

この要否につきましては、確認させていただきたいと思います。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。野口委員よろしく願いします。

(野口委員)

前年度と比べてどういった活動が縮小されたか伺いたいです。また、しいたけの植菌体験の記載があるが、その中でどんな森林学習が実際行われているか分かるような資料がついているとよいと思います。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

活動の縮小については、令和 5 年度は、シートピアなあどに商品陳列棚を作成して設置するというのが入っていたため、それを今年度実施しないということで、大きく減っています。御意見いただいた活動写真については、添付するように指導したいと思います。

あと、しいたけの植菌体験では、近年被害が広がっているナラ枯れ被害に関して、しいたけ植菌を植えることで、森林が守られるということをお伝えするのと、宮古市は、しいたけ産業が盛んなため、そういったことを市民の皆様に、知っていただく機会にしたいと団体からは伺っています。

(野口委員)

わかりました。どうもありがとうございました。

(國崎委員長)

若生委員よろしく申し上げます。

(若生委員)

活動の参加者の中には、親世代から森林を引き継いでどうしようかと悩んでいる世代の皆さんもいらっしゃるかと思うので、活動の機会に、パンフレット等を配布すると併せて、県民税で出来ることについて話をさせていただくと思います。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

承知しました。そのように提案してみたいと思います。

(國崎委員長)

稲村委員よろしく申し上げます。

(稲村委員)

事業として、報償費だったり使用料は、一切かからないという認識でよろしいですか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

そうですね。報償費に関しては、市の職員が指導いたします。場所代についても、かからないというふうに聞いておりました。

(稲村委員)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

次に進ませていただきます。21 番小沢の里山をつくる会「癒しと親しみの里山体験事業」ということで、前年度と今年度で9万8000円ほど減となっています。昨年度の実績を踏まえつつ、適宜見直しをされたのかと思います。何か御質問等ございますか。若生委員よろしくお願ひします。

(若生委員)

クライミングギア等の用具一式を購入されるということで、用具の活用方法については、伺っていますか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

小沢の里山を作る会の代表の方は、ツリークライミングジャパンの資格を昨年取得しており、この活動以外でも、ツリークライミングの活動をしていきたいというふうに伺っています。

(國崎委員長)

他いかがでしょう。佐藤委員よろしくお願ひします。

(佐藤委員)

参加人数延べ50人ということですが、ツリークライミングを1人の講師で実施する予定ですか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

活動自体は4回を予定しておりまして、講師を呼ぶのは2回分だけですが、その他は代表の福原氏が講師を務める予定になっています。講師を呼ぶ回についても、福原氏が補助に入るということで、安全に配慮して活動を行うこととなっています。

(佐藤委員)

私も1度ツリークライミング経験したことあるんですけども、やはり何が起きるかわからないので、1人の講師だと不安だということで、質問させていただきました。ありがとうございます。

あとですね、指導者旅費について、奥州市等とあるが、右端の備考欄には、田老から宮古から花巻空港という内訳が記載されています。関連付けは何かあるのでしょうか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

公共交通機関で移動したときを参考に、キロ数で計算したものというふうになっています。奥州市からいらっしゃる分を旅費と考えた積算方法で算出しています。

(佐藤委員)

わかりました。ありがとうございます。

需用費の中のクライミング用品について、ツリークライミングロープが昨年度より短いものを追加で購入されているのには、何か理由があるのでしょうか。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

去年より短いロープを買う理由については、確認させていただきたいと思います。追加購入の理由につきましては、昨年度に代表の福原氏が整備を進めて、クライミングができる木自体増えたことから、用具を追加購入する形となっています。

(佐藤委員)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

次に22番「いのち」育む森林のちから—モリアオガエルとともに」ということで、こちらについて、御質問等ございますか。佐藤委員、よろしくお願いします。

(佐藤委員)

事業の目的も、内容的に充実しているなというのと、モリアオガエルを、取り巻く環境づくりを専門家もお呼びして開催するというので、小さな生き物を大事にする、命を大事にするというところから始まっているので、とても大事なことだと感じました。要は、自然は人だけのものでなく、それぞれ大切な役割があるということを大切に扱っている事業だと思います。開催されるイベントとかも、これから注目させていただきたいです。

(國崎委員長)

若生委員よろしくお願いします。

(若生委員)

とてもいい活動で、応援したいなと思います。保険加入のところで、保険の内容とか予算のところに、金額の記載がないのですが、県民税以外のところでかけられているから記載がないのか、それともかけていないのかお伺いしたいです。もし保険をかけてい

ないのであれば、かけた方がいいと思います。

(大船渡農林振興センター：清水技師)

イベント内容によって保険料が変わり、詳細について確定していないため、保険料については記載していません。

(若生委員)

そこが分かったら、計上していただいた方が安心して活動できるかと思います。

(大船渡農林振興センター：清水技師)

内容が確定した段階で記載するよう指導したいと思います。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。

稲刈り講師のところに経済学博士と記載がありますが、何か意図があるのか御教示いただきたいです。

(大船渡農林振興センター：清水技師)

ここに書いている経済学の博士というのは、京都大学名誉教授を指しているものです。経済学の内容というよりは、現地に来て、森林から田んぼといった環境の循環について説明をいただく計画としています。

(國崎委員長)

ありがとうございます。他いかがですか。よろしいですか。そうしましたら、23番から25番の3件について説明をよろしくお願いします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No.5 (審査番号 No.23~25) に基づいて説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。

23番「親子で木とのふれあい体験」ということで、周辺環境学習を含みつつ、そういう木工体験等をされるという企画になっております。前年度に比べて9万5000円ほど増になっていますが、使用料が昨年度より増えたと見受けられますが、何か御質問ございますか。よろしいでしょうか。

続いて24番久慈市「原木しいたけ産業体験事業」ということで、植菌体験等を中心とした環境学習となっています。前年からは、5万6000円ほど増えておりますが、何

か御質問ございますか。これもよろしいですかね。

最後に 25 番目「令和 6 年度カシオペアフォレストスクール事業」です。前年度に比べて 10 万円ほど減ということですが、外部講師を減らすという認識でよろしいですか。

(二戸農林振興センター：澤崎林務室上席林業普及指導員)

実施回数が、前年度比で回減するというのが、1 つの要因です。二戸は複式学級があり、今年実施するが来年は実施しないということがあり、来年は開催回数が戻るのではないかと推察しています。

(國崎委員長)

ありがとうございました。質問いかがでしょう。よろしいですか。以上をもって、県民参加の森林づくり促進事業の企画採択に係る意見聴取ということで、終わらせていただきます。

(6) その他

(國崎委員長)

議題続いて 6 番目その他ということですがけれども、何か事務局の方でございませうか。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

事務局からはございません。

(國崎委員長)

委員各位から何かございますか。野口委員からお願いします。

(野口委員)

県民参加の森林づくり促進事業の事業全体について、実績も回数が重なってきて、実績のある団体さんも増えていると思います。活動実績を紹介できるような事例集みたいなものが、できたらいいのではないかと思います。

また、安全管理に関して必要な経費はきちんと計上していただくようにすることが大事だと思います。

(國崎委員長)

ありがとうございます。稲村委員、よろしく願いいたします。

(稲村委員)

この前の会議の際に、報償費等がかかる専門家の方々の名前をなるべく明記するよ
うにというお話があったような気がするので、なるべくどなたにお任せするするのか、
今の時点決まってないのであれば、未定という形で記載した方がいいんじゃないかと
思います。

また、県民税ののぼりに関して、もっと具体的に会場のどこに置くか等明記をした方
がよいのではないかと思います。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

ありがとうございます。

補助費の明記の件については、なるべく分かるものは書いた上で未定の部分は未定
と、明らかにしていきたいと思います。

のぼりの件については、今年の議事概要について確認をした上で、必要な対応をして
いきたいと思います。

(稲村委員)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

ありがとうございました。

企画募集要綱の企画書の審査について、現状で事業評価委員は、いわゆる審査そのも
のというより意見を聴取されている立場になっているので、要綱に事業評価委員会が行
っているという記載になっているのは、実際とは違うのではないかと思います。表現は、
変えておいたほうがいいのではないかと思います。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

ありがとうございます。こちらについては委員長から御指摘ありました通りです。企
画書の審査については、評価委員会の意見を踏まえて、県で審査をするという趣旨の文
章に来年度以降、修正していきたいと思います。ありがとうございました。

(國崎委員長)

他よろしいですか。若生委員よろしく願いいたします。

(若生委員)

各団体につき1万円の事務費が認められていますが、実際の申請等の作業を考えると、
それ以上の労力が必要となっています。団体の形式によりケースバイケースとなり

基準を作成するのは難しいと考えますが、事務費として認められる額については、今後検討が必要と思います。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

事務局経費1万円の件につきましては、事業の継続や拡大というような意味で様々な要望があるということはその通りかと思うので、どのように対応するかについては、お時間いただいて、検討させていただきたいです。

(若生委員)

ありがとうございました。

(國崎委員長)

ということで、ここで議事を終了したいと思いますので一旦事務局にお返ししたいと思います。

3 閉 会

(林業振興課：高芝振興担当課長)

國崎委員長長時間に渡り、円滑な議事進行について、大変ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、長時間の御審議また貴重な御意見頂戴しまして誠にありがとうございました。

それでは以上をもちまして、令和 5 年度第 5 回いわての森林づくり県民税事業評価委員会(第一部)を閉会いたします。本日は大変ありがとうございました。